

事務事業名		高遠山古墳保存整備事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	教育委員会事務局
総合計画体系	基本政策	4	ふるさとを学び育つ文化のまちづくり	課・室	生涯学習課
	政策	03	地域の歴史・文化の保存と活用	係	文化財係
	施策	01	文化財の保護・保存・活用	内線電話	424
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	計上	
	項	4項	社会教育費	実施期間	
	目	2目	文化財保護費	平成19年度 ~ 令和4年度	

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	高遠山古墳の崩落を食い止め、周辺住民の危険を回避する。
		高遠山古墳		崖面補強工事の実施により、古墳が立地する尾根と古墳それ自体の毀損を防ぐ。
	現状・課題	善光寺平最古級の前方後円墳である高遠山古墳は、過去の採土工事によって墳丘の一部が破壊され、崩落が進行している。材料費等の高騰による事業費の増加、事業の遅れが課題となっている。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	中野市が所有者であるため。文化財保護条例（県）		
事務事業概要	崖面補強工事の実施。			
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量	
	高遠山古墳整備工事設計監理業務委託		一式	
	高遠山古墳整備工事		一式	
	講座等を利用した普及啓発活動		随時	

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	10,000,000	10,000,000
補正・流用等		円	0	0	—	
合計		円	10,000,000	10,000,000	15,000,000	
決算（見込）額 A			円	9,676,800	10,000,000	—
財源内訳	国庫支出金		円	0	0	0
	県支出金		円	3,225,000	3,333,000	5,000,000
	市債		円	0	0	9,000,000
	その他特定財源		円	0	0	0
	R2は予算額	一般財源		円	6,451,800	6,667,000
正規職員数			人	0.85	0.82	0.82
人件費 B			円	5,468,900	5,282,440	5,282,440
総事業費 A+B			円	15,145,700	15,282,440	20,282,440
市民1人当たりコスト			円	354	359	478

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
復元・保存整備率		増加	目標	76.0	%	82.0	%	85.0	%
			成果	54.0	%	58.0	%	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値を設定した理由	周辺住民の安全のため、早期完成を目指し工法を変更する。令和2年度からの目標とする整備率は、工法変更後の事業費に対するものとした。								

令和2年度の実施方針	拡充して実施	活動量	増やす	コスト	上げる	成果	上げる
	早期に完成させる必要があることから工法を変更し、更に事業量も拡充して実施する。						

